

```
% ファイル名 : newton.tex
```

```
\documentclass{jsarticle}  
\pagestyle{empty} % ページ番号を入れない  
\begin{document}
```

「何人ものニュートンがいた (There were several Newtons)」
と言ったのは、科学史家ハイルブロンである。同様にコーヘンは
「ニュートンはつねに二つの貌を持っていた
(Newton was always ambivalent)」と語っている。

近代物理学史上でもっとも傑出しもっとも影響の大きな人物が
ニュートンであることは、誰しも頷くことであろう。
しかしハイルブロンやコーヘンの言うように、
ニュートンは様々な、ときには相矛盾した顔を持ち、
その影響もまた時代とともに大きく変わっていった。

```
\end{document}
```